

製品名: SURFYNOL® 104 PA

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: SURFYNOL® 104 PA

### 製造業者/輸入業者/販売業者情報

会社名 : エボニック・ジャパン株式会社  
東京都新宿区西新宿二丁目3番1号

電話番号 : +81 3 5323 7300

FAX番号 : +81 3 5323 7399

電子メールアドレス : chemical-compliance-japan@evonik.com

### 緊急連絡電話番号:

24時間緊急連絡先 : +81 3 6630 4535 (月-金、9:00~17:00)  
+81 120 015 230 (上記以外の時間帯)

推奨される用途: 工業用途

使用上の制限: 知見なし。

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品の GHS 分類

#### 物理化学的危険性

引火性液体 区分 2

#### 健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 1

皮膚感作性 区分 1

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分 3 (麻酔効果。)

#### 環境有害性

水生環境有害性 短期 (急性) 区分 3

水生環境有害性 長期 (慢性) 区分 3

### GHS ラベル要素

絵表示:

製品名: SURFYNOL® 104 PA



**注意喚起語:**

危険

**危険有害性情報:**

引火性の高い液体及び蒸気。  
重篤な眼の損傷。  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
眠気又はめまいのおそれ。  
長期継続的影響によって水生生物に有害。

**注意書き**

**安全対策:**

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。容器を密閉しておくこと。容器を接地すること/アースをとること。防爆型の【電気機器、換気装置、照明機器などの機器】を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

**応急措置:**

皮膚（又は髪）に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。皮膚を流水【又はシャワー】で洗うこと。皮膚刺激又は発疹（疹）が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。特別な処置が必要である（このラベルの補足的な応急処置の説明を見よ）。吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。火災の場合：推奨された消火剤を使用すること。

**保管:**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。

**廃棄:**

内容物および包装の廃棄については、認定施設において地域、地方、国、および国際基準に従って行うこと。

**GHS 分類に該当しない他の危険有害性:**

可燃性の液体を蓄積静的も接着し、接地装置で帯電になることができます。火花は液体および蒸気に点火するおそれがある。突然発火または爆発を引き起こすおそれがある。

**重要な徴候及び想定される非常事態の概要**

製品名: SURFYNOL® 104 PA

データなし。

### 3. 組成及び成分情報

#### 混合物

化学名: アセチレンジオール溶液

#### 成分情報:

化学名又は一般名	CAS番号	ISHL	ENCS	含有率のパーセント (%) *
イソプロパノール	67-63-0	(2)-207	(2)-207	50.00%

\* ガス以外の成分は重量パーセントで示す。ガスの濃度は容量パーセントで示す。

### 4. 応急措置

#### 応急措置の記述

一般情報:	直ちに汚染された衣服を脱ぐこと。
吸入した場合:	新鮮な空気を供給する。気分が悪い場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合:	皮膚に接触した場合、石鹼と多量の水で洗い流すこと。不快感がある場合：医師の診察を受けること。
眼に入った場合:	直ちに多量の水で洗い、医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合:	水で口をすすぐこと。不快感がある場合：医師の診察を受けること。
応急措置をする者の保護:	データなし

#### 急性症状および遅発症状の最も重要な徴候症状

症状:	低濃度の蒸気/エアゾールに繰り返し及び/または長期的に暴露されると次の症状を起こす。： 喉の痛み。
危険:	データなし

#### 直ちに必要な医療および特別な処置

処置:	症状にあった治療を施す。
-----	--------------

### 5. 火災時の措置

適切な（および不適切な）消火剤  
適切な消火剤:

泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、水噴霧

製品名: SURFYNOL® 104 PA

使ってはならない消火剤:	大容量ウォータージェット
物質または混合物に起因する特有の危険有害性:	火災時には、次の物質が発生するおそれ：一酸化炭素、二酸化炭素 アルデヒド類。特定の条件下で他の有毒物質が微量に放出されるおそれがある。
<b>消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置</b>	
特有の消火方法:	着火源から遠ざけること。静電気放電に対する措置を講ずること。蒸気は空気と反応して爆発性混合物を生成することがある。危険にさらされた容器を水噴霧で冷やすこと。
消防士のための特別な保護具:	爆発性または引火性ガスを吸い込まないこと。自給式呼吸器と保護衣を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	個人用保護具を使用する。着火源を遠ざけること。十分な換気を確保する。
封じ込めと洗浄の方法および材料:	不活性吸収剤（砂、珪藻土、万能吸収剤等）で吸い取ること。廃棄物および回収に使用した用具は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
環境に対する注意事項:	排水設備、水系に流入させないこと。下層土/土壌への製品の侵入を防ぐこと。
二次災害の防止策:	データなし

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）:	データなし
安全取扱注意事項:	換気を十分に行うこと。（必要に応じて局所排気を用いること。）ガス、蒸気、エアロゾルを吸い込まないこと。皮膚および眼との接触を避けること。
接触回避:	10 項を参照。

### 保管

安全な保管条件:	容器を密閉し、涼しく換気の良い場所に保管する。熱源から離して保管する。酸、アルカリと一緒に保管しないこと。酸化剤と一緒に保管しないこと。
安全な容器包装材料:	データなし

製品名: SURFYNOL® 104 PA

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度等

#### 暴露限界値

成分	タイプ	暴露限界値:		ソース
イソプロパノール	TLV	200 ppm		JPISHL OEL (09 2015)
	TLV-C	400 ppm	980 mg/m3	JPJSH OEL (09 2015)
イソプロパノール	TWA	200 ppm		ACGIH (03 2016)
	STEL	400 ppm		ACGIH (03 2016)

詳細については、適切なテキストソースの最新版を参照し、産業衛生士または同等の専門性を有する人物、または、地方の該当機関に相談してください。

### 生物学的許容値

化学名	パラメータ / 試料採取時期	暴露限界値:	ソース
イソプロパノール	アセトン サンプリング時間: 週労働時間最後のシフト終了時。	40 mg/l (尿)	ACGIH BEI (03 2016)

### 個人用保護措置

眼/顔面の保護具:	密着性の高い安全ゴーグル
手の保護具:	補足情報: クロロプレン手袋, ニトリル手袋
皮膚及び身体の保護具:	適切な保護衣
呼吸用保護具:	蒸気、エアロゾルが発生する場合: 短時間に限る; 複合フィルター A-P2
衛生対策:	休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。取扱中は飲食禁止および禁煙。直ちに汚染された衣服を脱ぐこと。保護クリームを使用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

#### 外観

物理状態:	液体
形状:	液体
色:	淡黄色
臭い:	メンソール様

製品名: SURFYNOL® 104 PA

---

臭いの閾値:	未測定
凝固点:	未測定
沸点:	80 ° C
可燃性:	未測定
燃焼又は爆発限界の上限/下限	
爆発限界—上限:	未測定
爆発限界—下限:	未測定
引火点:	18.9 ° C
自己発火性:	未測定
分解温度:	未測定
pH:	5 - 7
	100 g/l
	10 %
	25 ° C
	水
粘度 (粘性率)	
動粘度:	未測定
動粘性率:	未測定
浮遊時間:	データなし
溶解度	
溶解度 (水):	未測定
溶解度 (その他):	未測定
n-オクタノール/水分分配係数:	未測定
蒸気圧:	47.9 hPa
	21 ° C
比重:	未測定
密度:	0.84 g/cm <sup>3</sup>
	21 ° C
かさ密度:	データなし
相対ガス密度:	未測定
粒子特性	
粒子径:	データなし
粒度分布:	データなし
比表面積:	データなし
表面電荷/ゼータ電位:	データなし
形状:	データなし
結晶化度:	データなし

製品名: SURFYNOL® 104 PA

表面処理: データなし

**その他の情報**

爆発性: 未測定  
酸化能力: 酸化性ではない。  
自然発火点: > 350 ° C  
金属腐食: 金属を腐食しない。  
蒸発速度: 未測定

**10. 安定性及び反応性**

反応性: 危険有害反応可能性の項を参照。  
化学的安定性: 通常の条件下では安定である。  
危険有害反応可能性: 適切な保管および使用条件では危険な反応は起きない。  
避けるべき条件: 裸火、火花、過加熱  
混触危険物質: 酸化剤。 酸類。 アルカリ類。  
危険有害な分解生成物: 適切な保管および使用条件では、特になし。

**11. 有害性情報**

**急性毒性**

**経口**

製品: LD 50, ラット, > 2,000 mg/kg, 本製品は中枢神経抑制剤である。

**経皮**

製品: LD 50, ウサギ, > 2,000 mg/kg

**吸入した場合**

製品: データなし

**反復投与毒性**

製品: データなし

**皮膚腐食性/刺激性:**

製品: データなし

**成分:**

イソプロパノール データなし

製品名: SURFYNOL® 104 PA

---

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激:**

製品:

データなし

成分:

イソプロパノール

OECD 405 (ウサギ): 刺激性。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性:**

製品:

データなし

成分:

イソプロパノール

ビューラー試験, OECD 406 (モルモット): 皮膚に対する感作性はない。  
呼吸器感作性物質でない

**発がん性**

製品:

データなし

**生殖細胞変異原性**

**In vitro**

製品:

データなし

成分:

イソプロパノール

Ames 試験, OECD 471, 陰性  
遺伝子突然変異試験, OECD 476, 陰性

**In vivo**

製品:

データなし

成分:

イソプロパノール

小核試験, OECD 474, 腹膜内, 陰性

**生殖毒性**

製品:

データなし

**特定標的臓器毒性 (単回ばく露)**

製品:

データなし

区分 3: 麻酔効果。

**特定標的臓器毒性 (反復ばく露)**

製品:

データなし

**誤えん有害性**

製品:

区分に該当しない

**その他の影響:**

データなし



製品名: SURFYNOL® 104 PA

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性:

#### 水生環境有害性 短期 (急性)

##### 魚類

製品: データなし  
区分 3

##### 水生無脊椎動物

製品: データなし  
区分 3

##### 水生植物毒性

製品: データなし

##### 成分:

イソプロパノール EC 10, 緑藻 (Scenedesmus quadricauda), 7 d, 1, 800 mg/l

#### 微生物に対する毒性

製品: データなし

##### 成分

イソプロパノール EC 10, シュードモナス・プチダ (Pseudomonas putida), 16 h, 1, 050 mg/l, DIN 38412 part 8

#### 水生環境有害性 長期 (慢性)

##### 魚類

製品: データなし  
区分 3

##### 水生無脊椎動物

製品: データなし  
区分 3

### 残留性・分解性

#### 生物分解

製品: データなし

#### BOD/COD比

製品: データなし

### 生態蓄積性

#### 生物濃縮因子 (BCF)

製品: データなし

#### n-オクタノール/水分配係数 (log Kow)

製品名: SURFYNOL® 104 PA

製品:	Log Kow: , 未測定
土壤中の移動性: 製品	データなし
成分: イソプロパノール	データなし
オゾン層への有害性:	規制されない
その他の情報:	土壌、水系、排水設備に流入させないこと。

**13. 廃棄上の注意**

残余廃棄物:	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にすること。廃棄においては、関連法規及び地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、又は地方公共団体がその処理を行っている場合には当該業者又は団体に委託して処理すること。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託すること。
汚染容器及び包装:	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

**14. 輸送上の注意****国内規制**

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

**国際規制****航空輸送 (IATA-DGR)**

UN/ID 番号 (UN/ID number)	: UN 1219
国連輸送名 (Proper shipping name)	: Isopropanol
国連分類 (Class)	: 3
容器等級 (Packing group)	: II
ラベル (Labels)	: 3
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft))	: 364
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft))	: 353
備考	: ERG-code (緊急時対応指針コード) 3L

**海上輸送 (IMDG-Code)**

UN number / ID number (UN number)	: UN 1219
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ISOPROPANOL

製品名: SURFYNOL® 104 PA

国連分類 (Class) : 3  
容器等級 (Packing group) : II  
ラベル (Labels) : 3  
EmS コード (EmS Code) : F-E, S-D  
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当  
(Marine pollutant)

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
供給された状態の製品には非該当。

#### 特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

## 15. 適用法令

### 労働安全衛生法

#### 特化則

**第一類特定化学物質:**  
規制されない

**第二類特定化学物質:**  
規制されない

**第三類特定化学物質:**  
規制されない

#### 有機則

**第一種有機溶剤:**  
規制されない

**第二種有機溶剤:**  
リストに収載済み

**第三種有機溶剤:**  
規制されない

**鉛中毒予防規則:**  
規制されない

**四アルキル鉛中毒予防規則:**  
規制されない

**通知対象物:**  
イソプロピルアルコール;

**表示対象物:**  
イソプロピルアルコール

**変異原性が認められた新規届出化学物質:**

製品名: SURFYNOL® 104 PA

---

規制されない

**変異原性が認められた既存化学物質:**

規制されない

**がん原性が認められた化学物質:**

規制されない

**労働安全衛生法 施行令 別表第 1 (危険物):**

引火性の物

**毒物及び劇物取締法**

**特定毒物:**

**法:**

規制されない

**政令:**

規制されない

**毒物:**

**法:**

規制されない

**政令:**

規制されない

**劇物:**

**法:**

規制されない

**政令:**

規制されない

**化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律**

特定化学物質、監視化学物質は含まれていない。

**化学物質排出把握管理促進法**

規制されない

**消防法:**

第 4 類: 引火性液体, 第 1 石油類, 非水溶性液体危険等級 II

**高圧ガス保安法:**

規制されない

## 16. その他の情報

その他の情報

製品名: SURFYNOL® 104 PA

こちらが最新版 SDS になります。このバージョンを以前のバージョンと差し替えて下さい。

この製品安全データシートに記載されている情報は、改訂日において弊社が入手できた情報であり、法令の改正又は新しい知見に基づいて改訂されることがあります。この情報は、当製品についていかなる保証をするものでもありません。この情報は、当製品のみを対象とするものであり、当製品が他の物質等と組合せて使用される場合を対象とするものではありません。この情報は、当製品の通常の取扱いを対象とするものであり、使用者の特別な用途に対する適合性、安全性等については弊社の管理外の事項となりますので使用者自身の責任においてご判断下さい。

**略語および頭字語:**

ACGIH:	米国。ACGIH 作業環境許容濃度、改訂された場合はその改訂版
JPISHL OEL:	日本。OEL - ISHL。(作業環境評価基準)、改訂された場合はその改訂版
JPJSOH OEL:	日本。OELs - JSOH (許容濃度等の勧告)、改正
ACGIH / STEL:	短時間ばく露限度 (STEL) :
ACGIH / TWA:	時間加重平均 (TWA) :
JPISHL OEL / TLV:	管理濃度:
JPJSOH OEL / TLV-C:	天井値:

AIIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム